



# 仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

令和4年度第4号(通算第77号)  
令和4年10月31日発行-隔月発行-  
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

- 林振** 「仙台管内きのこの日キャンペーン」開催中です！  
【林業振興部】 . . . . . 1
- 林振** 「原木しいたけPRイベント」開催中です！  
【林業振興部】 . . . . . 2
- 地振** 秋のお出かけ観光キャラバン・特産品販売会in水族館を開催しました  
【地方振興部】 . . . . . 2
- 地振** 山元町産「いちじく」を使用したパン・デザート  
のレシピコンテストが開催されました！  
【地方振興部】 . . . . . 3
- 農振** シャインマスカット販売会で産地をPR！  
【仙台農業改良普及センター，亶理農業改良普及センター】 . . . . . 4
- 農整** 亶理町立亶理小学校で亶理用水見学会が行われました  
【農業農村整備部】 . . . . . 5
- 畜振** 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されました  
【畜産振興部】 . . . . . 5


## 「仙台管内きのこの日キャンペーン」開催中です！

### ▶ 林業振興部



仙台市や近郊では、原木しいたけや菌床しいたけ、まいたけやきくらげなど多くのきのこが生産されています。直売施設やスーパーなどで手に取られた方も多いのではないのでしょうか。

今回、仙台市や山元町、大和町の生産者に御協力いただき、10月15日の「きのこの日」を機会に、管内で生産されるきのこ類を手に取っていただくために「仙台管内きのこの日キャンペーン」を11月15日まで開催しています。



**黒川・仙台・山元**  
**きのこの日**  
**キャンペーン**

地元産きのこを買って抽選で当たる！  
対象商品を買って5点集めて応募！

10月15日は「きのこの日」  
期間 10/15～11/15

JCB商品券2,000円分が  
5名様に当たります

対象きのこ商品に貼られているシール（1点または1.5点）を5点分集めて御応募いただくと、抽選で5名様に商品券2,000円分が当たります。

この機会に、地元で生産されたきのこをぜひ御賞味ください！キャンペーンや応募箱を置いていただいている店舗などの詳細は、QRコードから当キャンペーンのホームページを御覧ください。



参加はこちらから！

# 「原木しいたけPRイベント」開催中です！



## ▶ 林業振興部

コナラなどの広葉樹に種菌を植え付け、時間をかけてしいたけを発生させる「原木しいたけ」は、歯ごたえのある食感と濃い風味から根強い人気があります。

一方で原発事故以降、一部地域の原木しいたけは出荷制限がかかりましたが、生産者の方々は県外から原木を購入し、直接土壌に触れない環境で生産するなど努力を続け、個別に出荷制限を解除することで安全な原木しいたけをお届けしています。

この秋も仙台市と大和町の生産者の方々が中心となり、原木しいたけをより知っていただくためのイベントを行っています。仙台市のイベントは10月30日に行われ、大和町では11月6日のたいわ産業まつり（まほろばホール南側広場）で行う予定です。植菌体験のほか、採りたての原木しいたけの販売も行いますのでぜひお越しください。



昨年のイベントの様子



原木しいたけ

# 秋のお出かけ観光キャラバン・特産品販売会in水族館を開催しました



## ▶ 地方振興部

秋のお出かけイベント情報をお伝える観光キャラバンと、仙台地域の地場産品を販売する特産品販売会を10月8日、9日に仙台うみの杜水族館で開催しました！

キャラバンでは、仙台管内市町村のキャラクターが集合し、秋まつりや各種キャンペーンなど、この時期一押しのイベントについてPRしました。出演キャラクターは、カーナくん（名取市）、たがもん（多賀城市）、岩沼係長（岩沼市）、ブルベリッ娘とブルピヨ（富谷市）、リーフちゃん（利府町）、アサヒナサブロー（大和町）、常のモロ（大郷町）、ひら麻呂（大衡村）、モーリー（仙台うみの杜水族館）、むすび丸（宮城県）の総勢10のキャラクターで、観光PRタイムでは、来場されたお子様などと記念撮影をしながら、会場を盛り上げていただきました。

併せて水族館前広場では、仙台管内事業者により、ジェラートや唐揚げ、海苔、かまぼこ、梨など、仙台地域のおいしい地場産品が販売されました。

イベント当日は、天気にも恵まれ、たくさんの方に御来場いただきました。



キャラクター集合写真



特産品販売会の様子



地方振興部では、仙台農業テック&カフェ・パティシエ専門学校と連携し、管内で生産される「いちじく」について、料理人の卵である学生や飲食店等に知ってもらい、生産者との交流を通じての理解や共感、さらには、地産地消への取組みを促進する活動を実施しています。

この活動の一環として、専門学校の学生が、山元町産の「いちじく」を使用したパンと皿盛りデザートレシピコンテストに挑みました。当所からは所長と副所長が審査員として参加しました。学生の皆さんは緊張した面持ちで、商品コンセプトやターゲット、いちじくをどう取り入れたかなどを発表し、1作品ごとに審査員からコメントを頂きました。厳正なる審査の結果、パン部門では、8作品のうち、小さな子供から大人まで食べられるちょうどいいサイズと甘みを考えて作ったという「イチジクジャムのクロワッサン」、デザート部門では、5作品のうち、いちじくや金平糖など縁起の良い食材を使い、サークル状のデザインで縁があるということを表現したという「fortunate fig」が優秀作品に選ばれました。

優秀作品に選ばれたパンは、山元町のパン屋「Brot Dorf (ブロードルフ)」で10月から期間限定で販売されました。皿盛りデザートは、東京新丸の内ビルディングのオーストラリア料理レストラン「Wattle Tokyo (ワトルトーキョー)」のメニューとして令和5年3月中旬頃から提供される予定です。



左上：優秀作品「イチジクジャムのクロワッサン」

左下：優秀作品「fortunate fig」

右上：レシピコンテストの審査員と参加した学生の皆さん（パン部門）

右下：レシピコンテストの様子（デザート部門）



仙台農業改良普及センター管内の黒川地域（富谷市・大和町・大郷町・大衡村）では、平成28年に県内JA初の「ぶどう部会」が組織されています。現在30戸の農家が加入し、シャインマスカットを中心に約1ヘクタール栽培されており、年々生産を拡大しています。そこで、JA新みやぎあさひなぶどう部会が主催となり産地PRと販売促進を目的として、9月24日にJAグリーンあさひな（大和町まいの）、10月2日に元気くん市場仙台南店（太白区茂庭）の計2か所でシャインマスカット販売会を開催しました。シャインマスカットの房や粒のパックを数種類、格安で販売し、両日とも開店前から行列ができる盛況ぶりでした。生産者は丹精込めて作ったシャインマスカットの品質や甘いぶどうの見分け方等を紹介し、お客様から「来年も開催してほしい」との声が多数聞かれました。

一方、亶理農業改良普及センターでは、シャインマスカット栽培技術の品質向上と省力化及び産地としてのイメージ定着を目的に、プロジェクト活動に取り組んでいます。9月29日、亶理町内にある直売所「鳥の海ふれあい市場」を会場にして、亶理町のシャインマスカット生産者3戸による合同販売会を開催しました。当日は多くのお客様に来場いただき、約130房のシャインマスカットが2時間で完売しました。

普及センターでは、今後も技術支援や産地のPR等により、地域のシャインマスカットの普及拡大を支援していきます。



【仙台農業改良普及センター】  
上段左：産地紹介パネル  
上段右：販売会の様子

【亶理農業改良普及センター】  
下段左：販売されるシャインマスカット  
下段右：販売会の様子





8月24日に、巨理町立巨理小学校の4学年児童100名を対象に町内を流れる巨理用水の役割について現地学習会を行いました。

この「巨理用水学習会」は、巨理地区管理体制協議会が事業の一環として、地域の子どもたちに土地改良区の持つ多面的機能や自然環境の現状を知ってもらおうと毎年開催しているものです。

当日は、校庭で用水路の役割や様々な施設の機能について説明を受けた後、安全管理を徹底しながら、用水路沿いを歩いて、「余水吐ゲート」や「水位調整ゲート」等の見学施設へ向かいました。

見学中、児童たちは、説明されたことや質問したことをメモしながら、熱心に学習に取り組む姿が見られ、とても有意義な見学会となりました。



施設を見学する児童たち

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されました



5年に1度の全国和牛能力共進会（以下「全共」）が、10月6日から10日にかけて鹿児島県で開催されました。本大会は「和牛のオリンピック」ともいわれ、体型の良さなどを月齢別に審査する「種牛の部」及び肉質を審査する「肉牛の部」があり、宮城県からは21頭出品し、仙台地域では大和町の根元ファームから「肉牛の部」に1頭出品しました。

「肉牛の部」への出品牛は、令和3年5月から令和4年8月24日に行われた宮城県の代表牛最終選考会までの長い期間、手塩にかけて育てられてきました。県代表に選ばれてからは、大会まで事故等がないよう細心の注意を払いながら飼養管理を行い、無事に全共に出品し、見事、1等賞（優等賞13席の次席）を勝ち取りました。

県代表牛として全共に出品できることは、全国的に肥育技術の高い宮城県のハイレベルな競争を勝ち抜く技術力が求められるもので、根元ファームは宮城大会に続き2大会連続の出品となり、その技術の高さがうかがわれます。



一等賞

出品番号	81
出品区	7
県名	宮城県
出品者	有限会社 根元ファーム

左：セリ会場の様子

右：1等賞となった枝肉の写真（第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会HPより）